

# 後援会だより

「子どもの母校は我が母校」  
「後援会だより」は後援会が保護者の皆さまと作るページです。

## 2016年度支部総会・父母懇談会総括

## 茨城県支部総会 40周年記念式典を終えて



後援会会長 祖父江一仁

7月9日(土)から8月28日(日)にかけて、全国各地で開催された2016年度の支部総会・父母懇談会は、36支部全て盛会のうちに終えました。今年は周年の節目を祝う支部が6支部あり、田中優子総長にご列席いただいた記念式典が盛大に挙行されました。講演や説明会、相談会などでご協力いただいた大学理事、副学長、学部長、大学職員の皆さまには、誠意あふれる対応をいただきました。

今回の、全国支部から集まった多くの意見と要望を大学と共有し、大学教育の内容と質が少しでも向上するよう、時代の変化に合わせて支援してまいります。後援会活動の源は全国での日頃の地道な活動にあります。今後とも後援会活動へのご理解、ご支援をお願いします。



現在、法政大学は中長期ビジョン「HOSEI2030」に基づき、将来を見据えた大学づくりに取り組んでいます。少子化、グローバル化など、先の見通しが立ちにくい状況の中、大学がさらに発展していくためには、日頃の地道な支部活動と全国レベルでの連携が不可欠です。そして、OB・OG組織である



茨城県支部長 五月女修(透麻/社会学部)

7月16日(土)、水戸京成ホテルにて支部総会・父母懇談会・設立40周年記念式典を開催しました。当日は、田中優子総長、祖父江一仁後援会会長を含め、大学と後援会より8人の方に事前打ち合わせから出席していただきました。

総会では、すべての議事がスムーズに承認されました。退任する役員には立派な感謝状を田中総長より一人一人に手渡していただき、一同は感激もひとしお。父母懇談会では、就職に関して聞きたいことを募ったアンケートの順に藤野吉成部長が説明くださり、興味深いお話をうかがえました。



40周年記念式典では、祖父江会長、30周年事業を執り行った上田豊人歴代支部長代表、木村真茨城県校友会会長のあいさつをいただき、「自由を生き抜く実践知」をテーマに、田中総長の記念講演が行われました。自由という言葉の本質、捉え方について貴重なお話を聞くことができました。



## 長野県支部総会・父母懇談会を終えて



長野県支部長 樋沢一幸(太樹/経済学部)

7月24日(日)松本市ホテルブエナビスタにて、92人の方々に参加いただき、長野県支部の支部総会・父母懇談会を開催しました。議事に先立ち、参加者全員で軽井沢バス転落事故の犠牲者に対し黙祷を捧げ、1年生役員を新たに10人選出。五つの議案もすべて可決、承認され、総会は滞りなく終了しました。

父母懇談会では、キャリアセンターの内田貴之主任は就職活動について、学務部の堀込康介主任が大学の学生生活や進級について、それぞれきめ細かく説明くださり、参加者は熱心にメモを取っていました。続いて、佐藤良一常務理事による「自由を生き抜く実践知」の講演があり、田中優子総長の志をうかがいました。さらに特別講演としてスポーツ健康学部の山本浩教授が「アスリートをめぐる責任と配慮」について話されました。折よくリオデジャネイロオリンピック開催直前で、講演会場は熱気と笑いに包まれました。また、本年度卒業したばかりのOB・OGの2人からは「私の就職体験」として、新しいスタイルの公務員試験



で県庁に入庁した話や、グローバル教養学部での学生生活と就職活動の様子などが語られ、関心が集まりました。

これらの講演と同時に、別室では個別相談も進行していました。女性役員と大学職員の方々に協力いただき、23組の相談を終えることができました。大変長い一日でした。

昨年10月の役員会から準備を始め、いくつかの難しい課題も解決しながら、支部総会・父母懇談会、懇親会を盛大に執り行うことができました。他の支部の皆さまにも多大な協力をいただき、後援会事務局の皆さまには大変なお願いやご負担をお掛けしました。この場をお借りして改めて感謝いたします。本当にありがとうございました。



引き続き、後援会事務局の皆さまには大変なお願いやご負担をお掛けしました。この場をお借りして改めて感謝いたします。本当にありがとうございました。

## 北海道支部総会・父母懇談会報告



北海道支部長 古田かおる(倫子/法学部)

北海道支部では、7月30日(土)札幌市のKKRホテル札幌(札幌共済会館)にて第34回支部総会・父母懇談会を開催しました。総会では、審議事項はすべて可決・承認され、新支部長へ引き継ぎ書を無事に渡すことができました。

懇親会では、校友会の西岡憲廣理事、北海道校友会藤井幸一会長もご出席くださり、「大学・校友会・後援会はこれから三位一体となって活動していきましょう」と大いに盛り上がり閉会となりました。今回の開催に当たり、尽力くださった全ての皆さまに御礼を申し上げます。

総会後の父母懇談会では、ダイアナ・コー、グローバル教養学部長より「自由を生き抜く実践知」と題して、キャンパス全体の国際化について講演いただきました。スーパーグローバル大学への採択に伴う大学の留学事情や英語のレベルを上げるプログラムなど、推進している方の声を直に聞くことができ、とても有意義な時間でした。

大学の様子として、学生生活については卒業生・後援会連携室の高野結司氏から、就職活動の動向についてはキャリアセンター市ヶ谷事務課の古川祥子氏から、それぞれ分かりやすい説明がありました。

続いての情報交換会は、例年と趣向を変え、卒業生を招いて就職体験談を語っていただきました。「自分に合った企業を見つけるためには自己分析と他



己分析を行い、できることとできないことを見極めることが重要」や面接に臨む姿勢など、まさに「生の声」を聞けました。加えて地元校友会に協力を仰ぎ、学生を採用する側の立場から企業の望む人材、採用面接での重視ポイントとしてマナーやコミュニケーション能力の重要性なども語られました。これらを基に、コー教授を交えたディスカッションも行われました。

オール法政  
合同スポーツ応援の  
ご案内

### ラグビー応援に 参加しませんか

【関東大学リーグ戦】

法政大学

VS

拓殖大学

【日時】

2016年

11月26日(土)

13時15分

【14時キックオフ】

【場所】

秩父宮ラグビー場  
法政大学ラグビー部  
テント集合

※スクールカラーであるオレンジ色の洋服やグッズをお持ちの方に、先着で法政オリジナルバッジを進呈します。  
※ラグビー部テント横では法政グッズを販売する予定です。

【主催】

法政スポーツ  
コミュニティー  
(HSC)

※HSCは、法政を応援する喜びを感じていただくためのコミュニティーです。後援会、校友会、教職員の有志で運営しています。皆さまも、法政ファミリーの一員としてご参加ください。



## 愛媛県支部総会・父母懇談会は前夜より始まる



愛媛県支部長  
岡崎 徳郎 (美和／キャリアデザイン学部)

8月21日(日)、ネストホテル松山にて愛媛県支部総会・父母懇談会を開催いたしました。大学からは岩崎晋也現代福祉学部長、愛媛担当と指名された大高美由紀主任と平野優貴氏、後援会本部から小林章相談役、森田恵子副会長に出席いただきました。

例年待ち時間を持て余してしまうことから、あえて役員集合を10分遅らせて全員が顔を揃えていました。これも県民性でしょうか。一足早く、にぎやかに杯を酌み交わし、大いに懇親を深めた前夜とは打って変わり、厳かな雰囲気でも支部総会は始まりました。会員一同も緊張の面持ちです。



議事は淡々と進み、後半の父母懇談会へ。なぜか例年、ここでトラブルが起こり、今年は事前に準備を整えておいたはずのパソコンが動かなくなり、急ぎよ本部のパソコンを借りて事なきを得たものの、会の進行は急ぎ足にな

りました。

岩崎学部長の「自由を生き抜く実践知」と題した講演を拝聴し、職員の方々から大学生活と就職活動について説明いただきながら、我が子が法政に進学したことを誇らしく感じました。続いての情報交換会では、グローバル大学らしく、留学に関する話題が主役になりました。

そして、「ここからが本番です」の掛け声とともに、懇親会がスタート。岩崎学部長の「私は決して酒豪ではない」という情報修正で、宴は最高潮に。「法政、おお、わが母校」と肩を組んで合唱したときには、予定時間をオーバーしていました。最後に、後援会の基本理念は「子どもの母校は我が母校」、主役は子どもであることを再確認しつつ、これから後援会活動に取り組むことを誓って、会は締めくくられました。



## 応援団夏季強化合宿成果発表会報告



後援会副会長 秋山 太史 (厳隼／理工学部)

8月13日(土)新潟県糸魚川市の青海総合文化会館で応援団夏季強化合宿成果発表会が開催されました。この日のために応援団の各部(リーダー部、吹奏楽部、チアリーディング部)は、8月6日(土)から新潟焼山の麓にある秘湯・焼山温泉の一軒宿で1週間にわたる練習に励み、その各部が取り組んだ成果は、お世話になった糸魚川市民の皆さまへの御礼と感謝を込めて、披露されました。会場には200人余りの糸魚川市民の皆さまにご来場いただき、成果発表会は大盛会のうちに終わりました。

いる応援団にエールを送ろうと企画し、新潟県、富山県、長野県の3支部と一緒に20人を超える方々と共に、熱い応援を届けてきました。パワーアップした応援団の成果は、法政が出席する各種の大学スポーツ応援の他、12月3日(土)にメルパルクホールで開催される予定の「第60回オレンジの集い」でも体感できますので、ぜひともお誘い合わせの上、ご参加ください。



## 佐賀・長崎県支部創立50周年



佐賀・長崎県支部長  
本多 充夫 (寛紀／人間環境学部)

8月21日(日)、ホテルニューオータニ佐賀にて、創立50周年記念の佐賀・長崎県支部総会・父母懇談会ならびに記念講演会を開催しました。当日は、田中優子総長と5人の大学関係者、後援会本部の祖父江一仁会長と今泉拓務、お隣の福岡県支部から友田圭三支部長をはじめ5人の方々に出席いただきました。

総会は、事業報告など四つの議案が可決、承認され、滞りなく終了しました。続く父母懇談会では、大学職員の皆さまから、学生生活や成績、就職活動のことなど役に立つ情報を分かりやすく説明していただきました。情報交換会では、法政OBの卒業生がUTターン就職活動などについて話してください、大学と後援会本部の方々に交えたフリートークでは、参加者から多くの質問が寄せられ、活発な質疑応答の時間となりました。

その後は、歴代支部長、18人の歴代役員と39人の佐賀県校友会の方々にも出席いただいた上で、田中総長の記念講演「自由を生き抜く実践知」が始まりました。総長のお話についての間に



引き込まれ、皆さん興味深く聞いておられ、1時間の講演があっという間に感じるほどでした。会場でも販売した田中総長の著書『自由という広場』も、用意した40冊が完売でした。

最後は、後援会と校友会との合同懇親会となりました。短い時間でしたが多くの方とお話をして親睦を深められ、田中総長を囲んで記念撮影をしたり、円陣を組んで校歌を斉唱したりするなど、充実した一日となりました。

末筆となりましたが、50周年事業を開催するに当たり、尽力いただきました全ての皆さまに、御礼申し上げます。



## 役員多摩キャンパス見学会報告



後援会常任幹事  
小島 克朗 (征吾／キャリアデザイン学部)

7月2日(土)、多摩キャンパスの見学会が開催されました。校門そばに立つエッグドームの5階には演劇ホールがあり、演劇サークルの学生が練習をしていました。大学生協に立ち寄って法政オリジナルグッズを購入した後は、バスに乗ってスポーツ健康学部棟へ。このバスは後援会からの寄贈品で、「青バス」と呼ばれ親しまれているそうです。学生食堂とトレーニング教室を見学し、トレーナーについての説明も受



けました。図書館ではOPACという蔵書検索システムを体験。「後援会の支援で、学生全員がデータベースへ同時接続できるようになり、とても便利になりました」と職員の方より感謝の言葉をいただきました。体育館には日本水泳連盟公認のスイミングプールや柔道場、陸上競技グラウンドなど、充実したスポーツ施設もありました。最後に少し離れた城山グラウンドへ。人工芝のサッカー場と馬術部の馬場、そして馬の飼育施設を見て回りました。多摩キャンパスは、自然と設備に恵まれた素晴らしいキャンパスだと確認できた一日でした。